

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県山武郡横芝光町

3 地域再生計画の区域

千葉県山武郡横芝光町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、穏やかな気候と緑の里山、栗山川、九十九里浜といった豊かな自然に恵まれ、先人から受け継いだ歴史文化や食文化、地域コミュニティの温かさも残る、暮らしやすいまちとして発展してきた。

現在、本町では、成田国際空港の更なる機能強化を契機とした地域振興や圏央道等の整備による広域アクセスの向上等に伴う産業振興、住宅の立地等が期待されており、新たな展望に向けまちづくりが着実に進められている。

しかしながら、近年では人口減少が続き、高齢化も進行している。年間出生数が100人を割り込むなど少子化も著しくなっており、まちの未来を展望する際の大きな課題となっている。

本町の総人口は国勢調査によると、平成7年（1995年）の26,814人（旧横芝町と旧光町の合計）をピークに緩やかに減少し、令和2年（2020年）には22,075人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によれば、町の人口は今後も減少を続け、平成2年（1990年）には26,430人だった人口が、令和32年（2050年）にはその約半分の13,385人まで減少するものと推計されている。

まちの将来を展望するためには、人々が安心していつまでも住み続けたいと思えるような地域づくりを推進し、担い手となる若者や子育て世代の移住・定住を促して、一定規模の人口を維持することが引き続き不可欠である。

これからの本町には、一人ひとりの自分らしさと他者を尊重する心を育みつつ、

様々な人々が集いつながり、みんなで実行していくまちづくりが重要である。また、自然との調和のもと、町民一人ひとりが幸せを実感でき、災害にも強い安心で安全なまちづくりが期待されている。さらには、農業や商工業の振興、様々な交流が生まれる環境づくり、それらにより人が行き交い賑わいが生まれるまちづくりも望まれる。

これらのことから、「だれもが参画する ともにつくるまちづくり」の理念のもと、こども・子育て支援や学校教育、基盤整備や産業振興、移住・定住の促進や成田国際空港との共生・共栄などにより人口減少を可能な限り抑制する。また、デジタル技術の活用などにより、人口規模に応じた持続可能なまちづくりを目指していく。このような考えのもと、まちづくりの基本目標を掲げ目標達成に向け取り組んでいく。

- ・基本目標 1 郷土愛を育み、相互理解のもと、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち
- ・基本目標 2 豊かな自然と共生し、安全で安心して暮らせる住みやすいまち
- ・基本目標 3 地域の特性を活かし、産業活力と賑わいがあるまち
- ・基本目標 4 構想実現のために

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	児童クラブの待機児童数	19人	0人	基本目標 1
ア	ブックスタートパック (絵本) 配布率	95.3%	98.0%	基本目標 1
ア	人口に占める 20 歳代の割合	7.5%	7.5%	基本目標 1
ア	認知症サポーター数 (累計)	2,440 人	3,000 人	基本目標 1
ア	高齢者見守りネットワーク	25 事業所	34 事業所	基本目標 1

	ク事業協定締結事業者数 (累計)			
ア	各地域での介護予防活動 件数 (累計)	351 件	2,100 件	基本目標 1
ア	障害福祉サービス計画相 談支援利用者数 (年間延 べ)	673 人	720 人	基本目標 1
ア	障害児福祉サービス計画 相談支援利用者数 (年間 延べ)	174 人	228 人	基本目標 1
ア	ボランティア登録者数	290 人	330 人	基本目標 1
ア	健康教育の実施回数	124 回	134 回	基本目標 1
ア	3歳児のむし歯保有率	13.3%	10%	基本目標 1
ア	がん検診受診率 (町の集 団・個別検診)	22.66%	23.66%	基本目標 1
ア	東陽病院診療科数	10 科	10 科	基本目標 1
ア	特定健康診査の受診率	41.9%	45.0%	基本目標 1
ア	特定保健指導の実施率	57.1%	62.0%	基本目標 1
ア	国民健康保険税の収納率	95.7%	96.0%	基本目標 1
ア	介護保険料の収納率	98.1%	98.3%	基本目標 1
ア	後期高齢者健康診査の受 診率	23.9%	40.0%	基本目標 1
ア	後期高齢者医療保険料の 収納率	98.4%	99.0%	基本目標 1
ア	教職員指導力向上研修実 施回数	2 回	3 回	基本目標 1
ア	中学校生徒の実用英語技 能検定取得率	80.6%	90%	基本目標 1
ア	ジュニアリーダーの人数	5 人	5 人	基本目標 1

ア	青少年育成関係団体主催 事業数	8事業	8事業	基本目標1
ア	講座開催数	29講座	29講座	基本目標1
ア	図書館利用者(入館者)数	108,002人	120,000人	基本目標1
ア	図書貸出冊数	322,085 冊・点	350,000冊・ 点	基本目標1
ア	町民ギャラリー来場者数	4,704人	5,000人	基本目標1
ア	文化祭参加団体数	70団体	75団体	基本目標1
ア	文化祭来場者数	2,668人	3,000人	基本目標1
ア	スポーツフェスタ参加者 数	1,102人	1,200人	基本目標1
ア	パラスポーツ参加者数	438人	450人	基本目標1
ア	人権教室開催小学校数	全校	全校	基本目標1
ア	各種審議会などの女性委 員の割合	25.1%	40%	基本目標1
ア	国際交流事業実施回数	2回	2回	基本目標1
ア	日本語学習支援者の養成 人数(累計)	0人	80人	基本目標1
ア	コミュニティ活動実施団 体数	5団体	5団体	基本目標1
イ	銚子連絡道路横芝光IC周 辺の計画認可	0箇所	1箇所	基本目標2
イ	JR横芝駅周辺における都 市拠点の整備	0箇所	1箇所	基本目標2
イ	横芝海のこどもの国跡地 周辺の活用方針の決定	0箇所	1箇所	基本目標2
イ	立地適正化計画の策定	0計画	1計画	基本目標2
イ	幹線町道の改良率	98.64%	98.68%	基本目標2
イ	町所管の公共交通の年間	121,822人	165,000人	基本目標2

	乗車人数			
イ	木造住宅耐震診断および耐震改修件数	1 件	3 件	基本目標 2
イ	空き家バンク登録件数	3 件	5 件/年	基本目標 2
イ	上水道普及率	81.33%	87.21%	基本目標 2
イ	合併処理浄化槽普及率	54.60%	61.80%	基本目標 2
イ	町民 1 人 1 日あたりごみ排出量	0.72 kg	0.7 kg	基本目標 2
イ	民家防音家屋空調施設維持管理補助金	147,745,000 円	274,130,000 円	基本目標 2
イ	町内一日清掃参加人数	7,999 人	8,800 人	基本目標 2
イ	町内外企業およびボランティア団体との協働による海岸クリーン活動への参加人数	427 人	450 人	基本目標 2
イ	町内外企業との協働による栗山川環境ボランティア参加人数	678 人	700 人	基本目標 2
イ	文化施設利用者数	41,650 人	42,000 人	基本目標 2
イ	スポーツ施設利用者数	125,720 人	130,000 人	基本目標 2
イ	防災訓練参加者数	1,409 人	1,500 人	基本目標 2
イ	規約及び活動計画等を整備済みである自主防災組織の設置数	10 組織	15 組織	基本目標 2
イ	火災年間発生件数	30 件	減少	基本目標 2
イ	応急手当の普及（講習受講者数）	433 人	800 人	基本目標 2
イ	犯罪年間発生件数	135 件	減少	基本目標 2
イ	交通事故年間発生件数	55 件	減少	基本目標 2

イ	消費生活相談件数	37 件	51 件	基本目標 2
イ	農道の修繕率	7.9%	39.4%	基本目標 2
イ	橋梁の修繕箇所	0 橋	1 橋	基本目標 2
イ	排水機場の修繕	2 機場	5 機場	基本目標 2
ウ	担い手に対する農用地の集積率	14%	24%	基本目標 3
ウ	多面的機能活動組織	15 組織	17 組織	基本目標 3
ウ	観光入込客数	85,000 人	90,000 人	基本目標 3
ウ	観光企業の誘致	0 箇所	2 箇所	基本目標 3
ウ	駅前商業イベントでの参加事業者数	8 事業者	10 事業者	基本目標 3
ウ	産業団地の整備	0 箇所	1 箇所	基本目標 3
ウ	創業者数	6 人	6 人	基本目標 3
ウ	就業支援セミナー等の実施回数（累計）	2 回	8 回	基本目標 3
ウ	サポートセンターを利用した移住定住の相談件数（累計）	250 件	500 件	基本目標 3
ウ	若年層のふるさと回帰の促進（20～29 歳世代の 4 年前と比較した人口維持率）	85.45%	86.45%	基本目標 3
エ	ホームページへのアクセス総数	936,305 件	1,200,000 件	基本目標 4
エ	デジタルツール学習講座・相談会開催数	3 回/年	12 回/年	基本目標 4
エ	情報セキュリティ事故発生数	0 件/年	0 件/年	基本目標 4
エ	職員研修受講者数	754 人/年	800 人/年	基本目標 4

エ	連携協定締結数	116 件	134 件	基本目標 4
エ	町税収納率	99.0%	99.2%	基本目標 4
エ	経常収支比率	89.5%	87.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生推進計画事業

- ア 郷土愛を育み、相互理解のもと、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる事業
- イ 豊かな自然と共生し、安全で安心して暮らせる住みやすいまちをつくる事業
- ウ 地域の特性を活かし、産業活力と賑わいがあるまちをつくる事業
- エ 構想実現のための事業

② 事業の内容

- ア 郷土愛を育み、相互理解のもと、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる事業

こどもや子育て家庭、高齢者、障害者などを地域ぐるみで支える環境づくりに努めるとともに、こどもや高齢者、障害者がある人らしく社会に参画できる機会づくりなどを進める。また、健康に対する意識の高揚を促しながら、東陽病院を含めた地域医療体制の確保や社会保障制度の適正な運営に努める。

横芝光町ならではの特色ある学習を展開するとともに、学びの拠点である学校の環境整備に努め、地域との連携により児童生徒を育成する。また、一人ひとりの意欲に応じた生涯学習環境や、文化活動・スポーツ

活動を気軽に楽しめる環境づくりを進める。

一人ひとりの人権を尊重し、多様な人が参画する社会の実現を目指すとともに、外国人も暮らしやすい地域づくりを進める。また、自治会をはじめとする地域コミュニティやボランティアなどのテーマコミュニティ（特定のテーマに基づき活動する集団）の活動支援に努めるとともに、地域における活動の担い手の育成や、新たな活動の創出を促す。

【具体的な事業】

- ・子育て支援体制の充実
- ・若者への支援
- ・地域福祉体制の充実
- ・健康づくりの推進
- ・東陽病院の経営強化
- ・教育内容の充実
- ・生涯学習環境の充実
- ・多文化共生社会の推進
- ・地域活動の維持・活性化 等

イ 豊かな自然と共生し、安全で安心して暮らせる住みやすいまちをつくる事業

都市・交通基盤の整備に努め、まちの活力と住民の利便性を向上させるとともに、安全で快適な居住環境づくりを進める。また、生活排水の適切な処理、ごみの減量化、自然環境の保全などに努めながら、地域を美しく保つとともに、河川や海岸、公園・緑地を適切に維持管理する。

一人ひとりの災害に対する意識を高めながら、地域の防災力の向上を図る。また、広域的な連携のもと、消防・救急体制の強化に努めるとともに、警察をはじめとする関係機関との連携により、子どもや高齢者をはじめ、すべての町民を犯罪や交通事故などから守る環境を整備する。さらに、航空機騒音対策の推進を図りつつ、成田国際空港への交通アクセス性などに優れた、空港と共生・共栄するまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・住みやすくコンパクトなまちづくりの推進

- ・公共交通の利便性向上
- ・空き家対策の推進
- ・栗山川の保全・活用
- ・文化・スポーツ施設の維持管理
- ・地域防災体制の強化
- ・交通安全対策の強化
- ・土地改良施設の長寿命化 等

ウ 地域の特性を活かし、産業活力と賑わいがあるまちをつくる事業

農業の担い手の育成・支援や生産基盤の整備・活用などに努めながら、農産品のPRや収益の向上による活性化を図る。

また、情報交流拠点機能を果たす施設を有効に活用しながら、観光・交流の活性化に努めるとともに、広域交通の利便性を活かした産業立地や、起業・創業を促す環境づくりを推進する。

さらには、女性や若者をはじめ、町外からの移住者などにとっても魅力的な環境づくりに努め、移住・定住を促す。

【具体的な事業】

- ・生産振興と経営支援
- ・特産品のPRと消費の拡大
- ・地域資源の活用と環境との共生
- ・観光資源の活用・開発
- ・企業立地の促進
- ・新たな事業展開や起業の促進
- ・就業・雇用の促進
- ・移住・定住への支援
- ・積極的な町の魅力発信 等

エ 構想実現のための事業

地域課題の解決に向け、行政運営の様々な場面において住民の積極的な参画を得るよう努める。また、行政評価の実施やDX、民間活力の活用などを通じ効率的で効果的な施策・事業の展開に努めるとともに、健全な財政運営を推進する。

【具体的な事業】

- ・住民参加と協働のまちづくり活動の推進
- ・DXによる住民サービスと行政事務の充実
- ・広域連携の推進
- ・財政構造の転換への取組 等

※なお、詳細は第3次横芝光町総合計画（基本構想、前期基本計画及び前期実施計画）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,400,000千円（2026年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに横芝光町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日 2030年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2030年3月31日まで